

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
<p>Relationship between plasma lipoprotein (a), apolipoprotein (a) phenotypes, and other coronary heart disease risk factors in a Melbourne South Asian population.</p> <p>メルボルン在住南アジア系人種における、血漿リポタンパク質(a)、アポリポタンパク質(a)表現型と冠動脈疾患危険因子との関連</p>	
執筆者	
Xiong ZW, Wahlqvist ML, Ibiebele TI, Biegler BM, Balazs ND, Xiong DW, Lim YL.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Clin Biochem. 2004 Apr;37(4):305-11.	
キーワード	
アポリポタンパク質(a)表現型、心疾患危険因子、南アジア系オーストラリア人、	
要 旨	
<p>背景： 血漿リポタンパク質(a) [Lp(a)] が多いことは循環器疾患の重要な危険因子である。小サイズのアポリポタンパク質 [apo(a)] のアイソフォーム (F,B,S1,S2) は血漿中のリポタンパク質濃度と逆の相関関係があり、循環器疾患と有意な関連が認められている。しかしオーストラリアに在住する南アジア系人種において、アポリポタンパク質の表現型や様々な危険因子がリポタンパク質にどのような影響を与えるかについての報告はほとんどない。</p> <p>方法および結果： 402人のメルボルン在住南アジア系オーストラリア人を対象にリポタンパク質に影響を与える因子を調査した。402人のうち、男性は216人、女性は186人である。男性においては低アルコールビール摂取とリポタンパク質との間に負の関係が認められた。リポタンパク質濃度は男性では21%、女性では6%が年齢の影響によって説明された。男性では年齢とリポタンパク質濃度との間に正の関係が認められ、一方、女性では負の関係が認められた。アポリポタンパク質の表現型のうち、もっとも多く認められたものは apo(a) S3であった。S3表現型ではリポタンパク質濃度は検出範囲外から 811mg/l にかけて分布していた。年齢で調整すると、リポタンパク質濃度とアポリポタンパク質表現型の間には逆相関の関係が認められた。</p> <p>結論： リポタンパク質は遺伝的に決定されるといわれているが、南アジア系住民ではリポタンパク質濃度に影響を与える他の要因が認められた。</p>	